

## 公募する「学系」「専門分野」及び専門分野ごとの「応募資格」

No.	学系	専門分野	応募資格
1	人文科学系	日本語教育学(日本語教育プログラム担当)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院修士課程修了者又はこれと同等以上の研究業績を有する者</li> <li>・日本語教育学に関する深い見識と業績を有する者</li> <li>・学生指導をはじめ大学教育に熱意を持ち、学内業務に精励できる者</li> <li>・留学生の受け入れを含む国際交流に理解がある者</li> <li>・専門科目について英語で授業ができること</li> <li>・データサイエンスに理解がある者</li> </ul>
2	教育学系	国際協力、教師教育、教科教育等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際教育協力に関して修士以上(できれば博士)の学位を有する者、又はそれに相当する国際的な実務経験を有する者。特に、理数系教育に関連した業績があることが望ましい(着任時まで取得見込みを含む)。</li> <li>・著書又は査読付き論文を1編以上有する者</li> <li>・英語での実務が可能であること</li> <li>・教員免許を取得している者、又は、大学職員や政策担当者としての経験を有する者。いずれも理数系教育に関連した免許や経験であることが望ましい。</li> </ul>
3	教育学系	日本語教育学(外国籍児童・生徒支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士以上(できれば博士)の学位を有する者</li> <li>・著書又は査読付き論文を1編以上有する者</li> <li>・日本語教育能力検定試験に合格しており、3年以上の日本語教育の経験を有する者</li> <li>・英語での日本語教育の能力または経験を有する者</li> <li>・学校教員養成(在外教育施設教員を含む)および日本語支援の必要な外国籍児童・生徒の教育・支援に、理解と関心を有する者</li> <li>・「子どものための日本語教育研修(子ども初任研修)」(文部科学省委託事業)等の講習を受講していることが望ましい。</li> </ul>
4	社会科学系	気候変動に伴う災害が地域経済に与える影響に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な経済データとは異なるオルタナティブデータを加味した実証研究実績があること</li> <li>・異分野との研究協力、国際共同研究・国際研究プロジェクト企画に意欲的であり、サステナビリティ国際研究センターが実施している研究プロジェクトと協働できること</li> <li>・日本語は必須ではないが、英語で実務、教育および調査ができること</li> <li>・持続可能社会創成学環グローバルSDGsプログラムにおいて、専門分野に関連する専門科目のほか、「文化の多様性と持続可能性」「サステナビリティ経済学基礎」「グローバル・イシューと社会科学」などのオムニバス講義を担当することができること</li> </ul>
5	社会科学系	商学(マーケティング、消費者行動、アドバイジング、ロジスティクス、マーケティングサイエンスを含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位取得者(見込みを含む)。実務経験3年以上を有する場合は修士または外国における修士相当の学位(MBA等)取得者</li> <li>・査読付き学術誌の研究業績を有する者</li> <li>・本学が強みとする研究分野をビジネスの視点で捉えて事業活動と顧客・市場との関わりについて積極的に寄与できる者</li> <li>・市場や顧客の量的または質的データの分析経験があると望ましい。</li> <li>・日本語での授業が可能なる方。</li> <li>・「データサイエンス実践演習」において企業と学生に助言を行うことでデータサイエンス事業に寄与できる者</li> <li>・「商学総論」として研究開発成果の販売につながる商学分野の教育を担当できる者。国際マーケティングまたは専門分野にあわせた科目も担当可能であると望ましい。</li> </ul>
6	理学系	物性物理学(X線を用いた分光物理学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着任時まで博士、またはPh. Dの学位を取得していること</li> <li>・X線を用いた分光分析を手段とする物性物理学(実験結果に対する解析計算を含む)を専門とする研究者であること</li> <li>・海外における研究の経験を持ち、海外研究者との交流・共同研究の十分な実績を有すること</li> </ul>

No.	学系	専門分野	応募資格
7	理学系	分析化学、環境科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着任時までに博士の学位を取得していること</li> <li>・左記専門分野でカーボンニュートラルに関する先端的な研究を推進し、国際共同研究、国際研究プロジェクト等の更なる拡充と異分野融合研究への波及・拡大に積極的に取り組むことができる者</li> </ul>
8	工学系	機械工学(特にリハビリシステムに関する力学・制御・通信などいずれかの分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士号またはPh.D.の学位を取得している者、または着任時までに前記学位を取得見込みの者</li> <li>・当該分野における研究業績があり、大学院博士前期課程及び博士後期課程における教育・実験指導が担当できること</li> <li>・教育・研究および産学連携・国際連携に意欲があること</li> </ul>
9	都市デザイン学系	“気候テック(Climate Tech)”分野(“地球沸騰化”時代の地域レジリエンス構築や温室効果ガス削減に関わる自然科学、社会科学、材料科学の研究分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理工系または経済学に関する博士又はPh.D.の学位を有すること</li> <li>・“気候テック(Climate Tech)”分野の研究推進に資する業績を有すること</li> <li>・関連分野の国際的なネットワーク構築に意欲があること</li> <li>・地域および関連産業の活性化に意欲的であること</li> </ul>
10	医学系	医学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位を有する者(採用時に博士の学位を有する予定の者を含む。)、修士の学位を有する者、又は学士(医学)の学位(相当する学位を含む。)を有する者</li> <li>・査読のある雑誌(日本語を含む。)の第一著者の論文(症例報告を含む。)を1編以上有する者</li> <li>・医学分野(特に分野は問わない)において先端的な研究が行える者</li> <li>・医学分野における国際交流や英語教育に積極的に取り組める者</li> <li>・医学分野の教育、研究、社会貢献活動等に積極的に寄与できること</li> <li>・外国人であることが望ましい。</li> </ul>
11	医学系	看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位を有する者(採用時に博士の学位を有する予定の者を含む。)、又は修士の学位を有する者(採用時に修士の学位を有する予定の者を含む。)</li> <li>・査読のある雑誌(日本語を含む。)の第一著者の論文(症例報告を含む。)を1編以上有する者</li> <li>・看護学分野の教育、研究、社会貢献活動等に積極的に寄与できること</li> <li>・看護学の国際化に積極的に寄与できること</li> </ul>
12	薬学・和漢系	生物創薬・薬効解析学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士の学位を有し(令和7年3月までに取得見込みを含む)、医薬学に関する研究・教育に貢献できる者</li> <li>・創薬バイオロジーに関わる研究、疾病の発症メカニズムの理解に関する研究、伝統薬を含めた医薬品の薬効解析や新規医薬品の創成研究に意欲がある者</li> </ul>
13	芸術文化学系	データサイエンス(DAS: Data Art & Science)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンス、コンピュータサイエンス、アート、デザイン等の分野における修士以上の学位を持つことが望ましい。</li> <li>・データサイエンス(数学、統計学、コンピューターサイエンスなど)の知識を有すること</li> <li>・プログラミング(Python, R, SQLなど)によるデータ解析や生成の経験を有すること</li> <li>・機械学習などのスキルを有すること</li> <li>・美術、工芸、デザイン、建築の何れかに関するクリエイティブプロセスへの理解とデータサイエンス技術の活用力があること</li> <li>・芸術学研究あるいはアートマネジメントに資するデータ分析への経験または理解があることが望ましい。</li> <li>・感性コンピューティングに関する理解や経験があることが望ましい</li> <li>・アートやデザインプロジェクトへのデータサイエンスの活用実績があることが望ましい。</li> </ul>